

暑い状況は短時間でも、そこでかいた汗はずっと残って体を冷やし体力を奪っていく。汗を溜め込まない化繊のTシャツや肌着、下着を着ておく、あまり着膨れすぎないなどの対策はしっかりしておかねばならないことを知ろう。

☹️ コミケットは迷う！ ☹️

コミケット会場は大きく『東1～3ホール』『東4～6ホール』『西ホール』のサークルスペースが配置されるホールと、『企業スペース』、『コスプレ広場』に分けることができる。現在その中には各日約1万に及ぶサークルと、150以上の企業が出展しており、3日で述べ50万人以上の参加者が会場に文字通りあふれている。これは例えれば**ちょっとした地方都市の人口**と云っていい規模だ。

その中で、自分の行くべき場所、行きたい場所はどこにあるのか、予備知識なしではまったく知らない町にいきなり飛び込むようなものだ。

実際の旅行でもガイドブックが必要なように、コミケットにもガイドブックが存在する。当然、それがこの記事も掲載されているコミケカタログだ。

カタログの購入は参加者の義務ではないが、**記載されている注意事項を正しく理解することと、カタログを熟読し、コミケットとはどういった場所なのかを理解することは参加者全員の最低限厳守すべき義務だ。**

その上で、自分のお目当てをカタログから見つけ、当日その場所を実際に訪れるための準備をすることであなたはコミケットの参加者になっていく。同人誌でもコスプレでもグッズでも、何らかの目的があって初めて、コミケットは参加する意味のあるイベントである。

何の目的も持たずに物見遊山気分で行ってきても会場で途方に暮れることになってしまうので、自分はいったい何をしにコミケットへ行くのか、どこに行きたいのか、よくよく考えてから参加しよう。

コミケットは楽しい。しかしそれは参加者それぞれが自分の目的を持って活動しているからに他ならない。目的を持たずに行くとコミケットの会場は意味不明なだけの非常に厳しい環境の場所ではない。

その厳しい環境を快適なものに変える努力をしてでも参加したいと思える人なら、コミケットを楽しむことができるだろう。

参加すると決めたなら、まずはカタログを熟読し、明確な目的と的確な準備を忘れずに。それが参加者の基本中の基本なのだ。

●サブアイテムで柔軟な温度対応を●

厚着すると入場してから暑い、さりとて脱ぐと邪魔だし。でも待機中に寒い思いはしたくない……と、着ていく物でお悩みのアナタに、グッドな逸品をご紹介します。

それは、『中厚手登山・ハイキング用靴下』だ!!

クッション性やサポート性に優れた厚めの靴下は歩行時の疲労を大きく軽減してくれる。人間寒くても汗はかくので、綿の靴下などを履いているとその汗で湿り、運動量が落ちたとたんに急速に冷えてしまうので、少なくともナイロンやポリウレタンといった化繊や毛(ウール)などの靴下を履くことは防寒の基本、気温そのものは低くても足先が温かければかなりしのぎやすいものなのだ。

その意味で靴下は良い物を選べば、シャツを更に1枚着込むよりも暖かく、更に活動する際には着膨れて汗をかくのを防いでくれる。

というわけで、疲労軽減のためのサポートと、最先端の化学繊維によるドライかつ暖かい足入れを両立させたのがハイキング・低山登山用の靴下なのだ。

確かに値段は一般的な靴下と比べたら高価ではあるが、その効用は絶大と云っていい。特にもし雨が降って靴の中まで浸水してしまったような場合でも、特殊な化繊の専用靴下は足を冷やさず、ドライな感触を保ってくれるのだ。

洗濯の際の乾燥も早いので、会期中毎晩洗濯しながら使いまわすことも不可能ではない。この際思い切って1足導入してみれば、間違いなく価格以上のメリットを実感できるだろう。

この靴下に限らず、手袋、マフラー、耳当て、ショールやストールなどの末端保温アイテムは上手に使えば服をむやみと厚く着込むより手軽に暖かさを確保できる上に、着け外しで暑い/寒い時の微調整も可能なので是非用意していこう。

ただし、小物だけに冬コミでの落とし物の大部分を占める物でもある。くれぐれも紛失にご注意!!